

1 学年通信

新宮町立新宮東中学校 第1学年

令和2年11月11日(水)

(文責：杉光) No.6

学校行事の振り返り
～心身ともに成長しています～



見た目だけでなく、少しずつ
心は大きく根は深くなってるよ。

美しい紅葉が山頂からだんだんと新宮東中学校周囲にまで降りてきています。少し肌寒くなり、日暮れも早くなってきました。今年も残すところあと2ヶ月です。10月はたくさんの行事がありました。これまでの行事を振り返ってみましょう。(生徒の感想文より)



三角灯笼にはコロナ禍で頑張る方への励ましの言葉が書かれています。

竹灯笼

- 毎年立花地区で行っている行事を学校で行うことで、地域のよさをあらためて実感し、深い伝統を感じる事ができた。
- ブロック長が「こんな状況(コロナ禍)だから新しい文化が生まれる」と言っていた意味がわかった。自然の美しさや素晴らしさを実感した。
- 学習委員やリーダーが指示を出してくれ、みんなでサポートしたおかげで、美しいものが仕上がった。

はるかぜ文化週間(ビッグルーフコンサート)

- 全校生徒の前で踊ったり、歌ったり、漫才をしたりしてとても楽しかった。
- 自分の個性を堂々と発表している先輩はすごい勇気があると思った。
- 1つの演技の後に全校で拍手している一体感がよかった。



久世安俊先生の歌
本物のオペラに触れました。



体育会を盛り上げた1年生の体育会リーダーたち。

体育会

- 応援は始めは声が出せなかったけど、盛り上げてくれる人がいて、体育会が終わった後にみんなでほめ合っていたことがよかった。
- 係や競技で失敗している人がいても、責めずに励まし合う姿が多かったり、活躍してくれた人に声かけしたりして、互いに高め合える友達がいることがうれしいと思った。
- この時期に体育会ができると思っていなかったの、私たちは本当に恵まれているなと思った。

学校行事は学級・学年・ブロックの和を深めあえる実り大きな時間になりました。1学年が得たものは2つあります。1つは「集団でしか味わえない喜びを味わったこと」です。勝利や団結を目指して学級やブロックで活動し、友人の頑張りを必死に応援したり、上級生と練習を重ねたりするなど、友人や先輩の姿から多くのことを学びました。2つは「集団行動の厳しさ」です。忘れ物をしてしまった、行動が敏速にできなかったなど、先輩たちのようにできない場面もありました。しかし、校長先生から褒められたように徐々に機敏な行動ができるようになってきました。自分だけではなく、集団の一員としての自覚ある行動と意識が必要なことを学ぶことができました。

リーダーの取組に成果あり！
～チャイム席の取組が始まっています～

2分前だよ
全員着席！



これまでに学級のリーダーを中心とした取組として、よりよい集団をめざした「はきはき挨拶チャレンジ」を行いました。これは学年目標「はじまり」を意識した取組でした。学級で課題を報告したり、結果について皆で考えたりしながら、少しずつ意識し、よりよい行動に変わってきました。よい結果を出せるまでリーダーがあきらめずに活動するところが、1学年のよいところだと思います。11月の取組は「はじまり」の「じ」。「じかんをきちんと」です。目的は授業規律を整え、学級で授業に集中し学びを深めていくためです。自分たちで考え、目標達成に向けて取り組んでいます。以下、1年生が目標としている授業前の学級の姿です。

- ①授業が終わったらすぐに次の授業の準備をしてから休みをとる。
- ②着席し私語をせず学習する雰囲気作りをする。

頑張りを大切にできる雰囲気を
～生徒会改選にむけて～



11月4日（水）から学校を創り、伝統を受け継ぎたいという生徒会立候補者が選挙運動を行っています。また、公正に活動が進むように選挙管理委員が連絡、取組を行っています。選挙運動では、一緒に新宮東中学校をよりよくしていく仲間として「立候補者全員で1つのチームとなり選挙運動を正々堂々で行うこと」「どのような結果でも当選した人を支える一番の協力者になってほしい」と思っています。どの立候補者も「本気」の自分をアピールし、「1年生の顔」として一生懸命に頑張ってくれる人たちだと確信しています。

選挙運動期間中は、立候補者・応援者だけが頑張るのではなく、1年生全員として「頑張る立候補者を支えるチーム」としての意識をもってほしいと思います。具体的には以下のことが考えられます。

- ①日常（チャイム席、提出物、授業態度など）を大切にし、やるべきことをしっかりと行い、リーダーになっていく候補者に協力できるようにしましょう。
- ②どの立候補者がどのような公約を掲げているのか理解しましょう。そして、東中学校の一員として、どのような学校にしていきたいのか真剣に考え、誰を選ぶのかを自分で決めましょう。
- ③勇気を出して立候補した意欲ある友人に対して温かい気持ちで接し、温かい言葉かけができるようにしましょう。

この運動を通して、1年生全員一丸となって、頑張る人に「本気」で応え、頑張る人を温かく応援できる、そのような学年にしていきたいです。

災害に備えた保護者引き渡し訓練



11月7日（土）の1、2時間目に「思いをつなぎ、命を守る」目的で、総合学習で学んだ段ボールベッドづくりを行いました。慣れたチームワークでスムーズに作成することができました。その後、授業が終わると放送が流れました。「これは訓練です。猛烈な雨が予想されています。生徒の皆さんは・・・」。生徒たちは本番を想定した落ち着いた態度で、教員の指示に従って行動できました。保護者の皆様におかれましても、ご協力いただき本当にありがとうございました。



避難所になった場合を想定して、2人ペアになり、数分でベッドと囲いを組み立てることができるようになりました。



<今後の予定>

月 日	曜	内容
11月12日	木	定期考査
13日	金	定期考査
～16日	月	選挙運動期間
17日	火	立会演説会・投票・開票
18日	水	当選発表
19日	木	歯科検診（全学年）
21日	土	土曜授業（人権映写会）
24日	火	教育相談～12月4日（金）まで
12月25日	金	2学期終業式

地域のために活躍したい！！
～もしものための防災訓練～

11月8日（西日本新聞）に11月7日（引き渡し訓練時）に行った1年生の授業の様子が掲載されました。段ボールベッド作りは、8月総合学習で学んだことです。総合学習ではベッドを作る技術面だけでなく、防災時の心理面も学習しました。今回はその学びを振り返るよい機会となりました。

段ボールベッド設置訓練

新宮東中 災害時の避難所開設に備え



手順に従い段ボールベッドを組み立てる生徒たち

新宮町三代の新宮東中（折居邦成校長）で7日、災害発生時の避難所開設に備え、段ボールベッドの組み立て訓練があった。1年

生142人が、体育館でベッドとついたてを作る早さを競った。2019年に開校した同校は、災害時に避難者や大

量の支援物資を受け入れる地域拠点施設も兼ねており、地域連携室には段ボールベッドを常備している。在校時に災害が発生した場合は、生徒たちが組み立てを担う場合もある。8月の総合学習の時間に1度組み立てを体験しており、今回は習熟度を高めるために実施した。

生徒たちは2、3人で一組になり、蛇腹構造の段ボールベッドを手際よく組み立てた。最も早い組は3分45秒で完成させた。学年リーダーの1人、生島理久さん(13)は「作る手順を確認できてよかった。災害発生時は、3年生をサポートして避難した人を助けたい」と話していた。

（床波昌雄）